

2016年3月20日

テクノ品質システムのスタートにあたって

株式会社 テクノ
代表取締役 社長
上田 実

当社は、ISO9001:2008の認証登録を2014年5月に受け、活動してきました。
しかしながら、日本の企業で大多数を占める当社のような零細小企業が要求事項をすべて満足することは、現実として不可能に近いことを実感しました。
ISO9001は全ての企業への摘要を目指したものとなっているが、要求事項を真に順守して企業活動が可能なのは、いわゆる資源の豊富な大企業ではないだろうか。
しかし、ISO9001が目指しているものは、企業の大小にかかわらず製品やサービスを顧客に提供するなら実施しなければならないものであり、零細企業だからといって例外は認められないと考えます。
そこで、当社は、ISO9001の精神に沿って、顧客に対する製品品質を確保する為に企業として最低順守実行しなければならない事項をまとめた「テクノ品質システム」を構築しスタートしました。

【テクノ品質マニュアル(抜粋)】

1. 目的

この文書は、株式会社 テクノ(以下、当社という)における品質システムについて規定する。
当社は、ISO 9001品質マネジメントシステムの考え方を参考にして、当社の企業規模で可能な「不良品を作らない、流出させない仕組み」を作り、その有効性を継続的に改善する。
これにより、顧客に満足して頂ける製品やサービスを提供する。

2. 適用範囲

(1) 組織上の範囲

株式会社 テクノに關係する組織に適用する。

(2) 製品上の範囲

当社が扱う半導体・液晶製造装置関連部品(粉体抑制ガスヒーター、高性能フィルター等)で、必要と認める製品に適用する。

3. テクノ品質システム

当社は品質システムを実施するにあたり以下のことを行う。

- (1) 社長は、品質方針を作成する。
- (2) 社長は、組織図を作成し、その責任と権限を明確にする。
- (3) 社長は年度ごとに事業計画を作成する。
- (4) 品質システムに必要な業務と相互関係を、「テクノ品質システム概念図」に示す。
- (5) 主要製品については、品質文書(テクノ品質マニュアル、図面、仕様書、QC工程表、作業手順書等)を作成し、常に最新版を使用しその変更履歴を残す。
- (6) これら業務の計画された成果及び継続的改善を達成するために、必要なアクションをとる。
* 不良STOP会議の開催、外注との品質打合せ等
- (7) 品質文書全体の管理は、品質担当部署が行う。
* 必要な記録は、「記録管理一覧表」にまとめる。

仕事を外注で行う場合は、その内容を明確にし管理する。

【テクノ品質システムのマーク】



品質方針

- ・お客様の要求・期待に応えられる商品を提供します。
- ・製造プロセス全てにおいて、継続的改善を行い品質を確保します。
- ・法令・規制要求事項を順守し、安全・安心な製品とサービスを提供します。

株式会社 テクノ
代表取締役社長

上田 実